

不条理な世界

- 主人公 ムルソー
  - 「不条理」を描き出す
  - 不条理＝世界に意味や秩序がない
- 母親の死
  - 泣くことなく葬式にも行かない
  - ムルソーにとっては自然なこと
- 自分の感覚に正直に生きる姿
  - 常識やルールへの問い



社会の偽善性



- 殺人罪で裁判
  - 法廷では、犯罪よりも 葬式で泣かなかったことを問題視
  - ⇒ 社会の期待に沿わない態度が裁かれる
- ムルソーの態度
  - 最後まで自分の真実に従う
  - 社会に合わせるよりも自分を貫く
- 問い
  - 本心を隠すべきか？自分の真実を貫くべきか？

人生の意味

- ムルソーの価値観
  - 社会の価値観に縛られない
  - 今この瞬間を自分の感覚に従って生きる



- 死刑宣告を受ける
  - 自分の選択に満足
  - ⇒人生を肯定的にとらえる強さ